

かぜに

ネオメトン錠

かぜに

効能・効果

かぜの諸症状（鼻水、
鼻づまり、くしゃみ、
のどの痛み、せき、た
ん、悪寒、発熱、頭
痛、関節の痛み、筋肉
の痛み）の緩和

18錠

綜合感冒薬

ネオメトン錠

ネオメトン錠

かぜに



製造発売元
株式会社 きぬや薬舗
謹謹丸本舗 奈良県御所市今住475

お問い合わせ先 奈良県御所市今住475 電話 0745-67-0016

かぜに ネオメトン錠

かぜに ネオメトン錠

かぜに ネオメトン錠

効能・効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和。

用法・用量

大人(15才以上).....	1回3錠
11才~14才.....	1回2錠
5才~10才.....	1回1錠
5才未満.....	服用しないこと
1日3回食後なるべく30分以内に服用して下さい。	

用法・用量に関する注意

- (1)定められた用法・容量を厳守して下さい。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。



: 箱



: 成形シート
外装フィルム

18錠 ¥900.

有効成分 1日量(9錠)中

アセトアミノフェン	540mg
エテンザミド	600mg
マレイン酸クロルフェニラミン	7.5mg
リン酸ジヒドロコデイン	18mg
dL-塩酸メチルエフェドリン	54mg
無水カフェイン	90mg

添加物として乳糖、バレイショデンブン、ヒドロキシプロビルセルロース、カルボキシメチルセルロースCa、ステアリン酸Mg、タルク、アラビアゴム、酸化チタン、炭酸Ca、白糖、ヒドロキシプロビルメチルセルロース、カルナウバロウを含有する。

注意

- 1.次の人は服用しないこと。
 - (1)本剤による過敏症状(発疹・発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人。
 - (2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 2.服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。
- 3.服用に際しては説明文書をよく読むこと。
- 4.直射日光の当たらない湿気の少ない涼しいところに保管すること。
- 5.配置期限の過ぎた製品は服用しないで下さい。

ネオメトン錠 使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと。

(1) 本剤による過敏症状(発疹・発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人。

(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。 (3) 5才未満の小児。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。

(眠気があらわれることがある。)

4. 服用時は飲酒しないこと。 5. 長期連用しないこと。

相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。

(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。

(3) 授乳中の人は。(4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳幼・小児(15才未満)。(5) 高齢者。

(6) 本人又は家族がアレルギー体质の人。

(7) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(8) 次の症状のある人。高熱、排尿困難

(9) 次の診断を受けた人。甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、線内障

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ
消化器	恶心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	排尿困難

裏面もお読み下さい。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症 状 の 名 称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

(2) 5~6回服用しても症状がよくならない場合

3.次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること。

便秘、口のかわき

<用法・用量に関する注意>

- (1) 用法及び用量を厳守してください。
- (2) P T P 包装の場合の錠剤の取り出し方。



右図のように錠剤の入っているP T P シートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

<保管及び取扱い上の注意>

- (1) 直射日光の当たらない温氣の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
- (4) 配置期限の過ぎた製品は、服用しないでください。